



碧南ロータリークラブ週報

第2845回例会 平成29年11月8日(水)

- 会長 木村 徳雄
- 幹事 角谷 信二
- 会場監督(SAA) 長田 和徳

2017-2018 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリー:
変化をもたらす

- 会報委員 貝田隆彦・黒田泰弘・岡島晋一

● 齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

一般財団法人 蓼科笹類植物園「笹離宮」 理事長 大泉高明様

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先程は米山奨学にたくさんの寄付をしていただきまして、ありがとうございました。

本日の会長挨拶ということで、約束というと「指切拳万」という言葉があるのですが、この言葉の謂れはとっても怖いものがございまして、発祥は江戸時代まで遡りますけども、当時



木村徳雄会長

の遊郭の女性とそこに通っている方との話の中で始まりまして、自分の意中の男性に対して起請の手紙を渡しまして、更に特別な想いを伝える際に用いられたのが自分の小指を切り落として男性に渡すということだったそうです。これが指切の始まりで、極道の世界でもけじめを付けるということで小指を落とすことがありますけども、この指切と同じように強い意志、決意の表れでございまして。拳万というのは、一万回げんこつで殴るという意味です。ですので、約束を破ったら小指を切り落として、一万回殴られた後、針を千本飲ませるといことが本当の訳だそうです。それぐらい江戸時代の約束というのは怖かったそうです。

私は、指切拳万はしませんものですから、約束は「わかったわかった」ということでいつも流していますけども、今後も 5 分間の会長挨拶は真面目にさせていただきます。たまに休ませていただきますけども、よろしく願い致します。

ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更は幹事報告書の通りでございます。
- ・ 11月1日に第5回の理事会を開催致しました。協議事項について全て原案通り承認されました。
- ・ ガバナー事務所より「第6回日台ロータリー親善会議のご案内」、「2018年ロータリー国際大会 第2760地区ガバナーナイト（神野ガバナーを囲む会）のご案内」、「My ROTARYの登録マニュアル」が届いております。
- ・ 11月19日は地区大会でございます。本日、現地集合の方に名札を配布致しました。当日、忘れないようお願い致します。



角谷信二幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68名 (内出席免除者 16名の内出席者 11名)出席者 50名	
出席対象者 50/63名	出席率 79.37%
欠席者 18名(病欠者 0名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 木村 徳雄君 黒田昌司さん秋の叙勲でのご受章おめでとうございます。
竹中誠さん、鈴木泰博さん、藤関孝典さんには昨日までお世話になりました。
- 黒田 昌司君 この度、叙勲を受けました。これも偏に会議所会員そして皆様のお陰と心より感謝申し上げます。
- 竹中 誠君 3日間の楽しい旅でした。
- 苅谷 賢治君 本日、卓話の講師 大泉高明様を御紹介させていただきます。

卓 話

「笹というフィルターを透して見える『古事記』の真実」

一般財団法人 蓼科笹類植物園「笹離宮」 理事長 大泉高明様



大泉高明様

皆さん、こんにちは。只今、ご紹介頂きました大泉でございます。私の肩書を一般財団法人 蓼科笹類植物園「笹離宮」理事長とご紹介していただきましたけども、本業の方は来年で50周年を迎えます大和生物研究所というクマ笹で医薬品を作っている会社です。

本日は「笹というフィルターを透して見える『古事記』の真実」穢れと清めの物語というテーマでお話をさせていただきます。

さて、皆さん「氣」という言葉をよくお聞きになるかなと思います。氣候の氣、氣合の氣、元氣の氣、病氣の氣などありますが、この氣の本質と穢れの原義ということでお話をしたいと思います。中国漢方では、「氣・血・水」の血は血液、水はわかると思いますが、氣だけはどうも実体が見えないということで、この氣というのはケとも言いますが、生命エネルギーというふうに定義されております。昔の人は栄養価はわかりませんが、生き物が生きてく上で食べ物を食べなければ、やがて衰退して死んでしまうということはよくわかっております。何で食べなきゃいけないかということですが、これは自分の命、氣を保つために口から戴いて自分の氣に転化することによって生命というのは維持できるというふうに昔の人は信じております。

健康＝氣が満ちた状態（元氣）

病氣＝氣が病んだ状態（氣が枯れ始めた状態）

死 ＝氣が完全に枯れて生命活動が停止した状態

腐敗＝穢（氣枯）れた状態

氣（ケ）が枯れてくる状態＝穢れ（ケガレ）＝病氣
ということになります。

さて、この穢れ（氣枯れ）の反対の清め（氣与め）というのがあります。清め（氣与め）というのは、枯れた氣を補い、氣を満たすことです。特に高山の笹は氣が強く、浄化作用が強いです。

古事記に見える「ケガレとキヨメ」ということで、イザナギの禊で三貴神が生まれた理由ですが、イザナミ（妻）が最後に火の神を生んだ時に火傷で死んで黄泉の国に行ってしまいます。イザナギは諦めきれなくて、黄泉の国に迎えに行くとイザナミが大変恐ろしい姿になっていることにびっくりして、黄泉の国から命からがら帰ってきたイザナギは穢れを清めるために禊をします。その時に左目を洗うと天照大御神が生まれ、右目を洗うと月読命が生まれ、鼻を洗うと須佐之男命が生まれてきました。では、イザナギが水で洗ったら何で生まれてきたのかということですが、ケガレとキヨメの元々の意味を知ればすぐわかります。禊というのは浄化作用で、キヨメというのは氣を与えるということです。生命エネルギーが与えられたので、新しい命が生まれてきたという意味がここに隠れているということです。

すべての食べ物はみな毒です。「消化」とは「解毒」のことです。解毒をして「いのち」を戴く方法は、

- ・ 戴く命に感謝をする
- ・ 腹八分目以下
- ・ 一物全体
- ・ 身土不二

- ・ 薬食同源（1日に30種以上）
- ・ 良く噛んで、ゆっくり食べる

になります。

もし、この先のことについてご興味がありましたら、笹離宮にお越しいただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成29年11月22日（水）は法定休日を含む週のため休会

平成29年11月29日（水）

卓話「蒲郡クラシックホテルの歴史」

蒲郡クラシックホテル 支配人 安川貴也氏